



坂井法人会便り

新年のご挨拶

公益社団法人 坂井法人会
会長 出口 隆弘



皆様方には、ご家族おそろいで健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より、坂井法人会に対し格別のご支援ご協力を賜り、おかげさまで坂井法人会は昭和38年10月の創立以来55周年の節目を迎えることができましたこと厚くお礼申し上げます。

法人会は、元年10月に三重県で行われた全国大会において採択された「令和2年度税制改正に関する提言のローガン」①財政の再生と財政健全化を目指し、歳出・歳入の一体的改革を！②適正な負担と給付の重点化・効率化で、持続可能な社会保障制度の確立を！③中小企業は日本経済の礎。活力向上のための税制措置の拡充を！④中小企業にとって事業承継は重要な課題。本格的な事業承継税制の創設を！の実現に努めてまいります。

元年10月には、消費税が10%に引き上げられると同時に軽減税率制度の導入と大きな改正があり、法人会としては、税務当局と連携し研修会開催等を通じて円滑な運営に取り組んでまいりました。

法人会は、これからも「税のオピニオンリーダー」として「税務・経理・講演会」等研修会の開催、「小中学生の租税教育・身近な税金クイズ」等の納税意識の高揚や税知識の普及活動等により、公益社団法人として、企業の発展と地域の振興に寄与するとともに、国と社会の健全な発展に資する幅広い社会貢献活動を展開して行きたいと考えています。

結びに当たりまして、本年が皆様方にとって素晴らしい希望の年になりますことを心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



新年の御挨拶

三国税務署
署長 神保 誠一



令和2年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。公益社団法人坂井法人会の皆様には、平素から税務行政に対し、深い御理解と多大な御協力を賜り、本誌をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

貴会におかれましては、税のオピニオンリーダーとして、国と社会の健全な発展に貢献する社会活動を進めながら、納税意識の高揚と税知識の普及啓蒙のための各種研修会の開催や租税教室など、幅広い活動を展開されており、出口会長をはじめ役員並びに会員の皆様の日頃の御尽力に心から敬意を表する次第です。

さて、近年、経済活動の国際化やICT化の進展、消費税率10%への引上げと軽減税率制度の導入など、税務行政を取り巻く環境は大きく変化している中、新たな時代に向けて、国税庁の使命である「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ため、ICTの有効活用等により、納税者サービスの向上に努め、適正・公平な課税・徴収を行うなど、国民の信頼に応えるべく質の高い税務行政を行っていくことが重要と考えておりますので、今後とも、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

間もなく、令和元年分の所得税等の確定申告期を迎えます。税務署の申告相談の受付期間は2月17日(月)から3月16日(月)までですが、本年もe-Taxや国税庁ホームページを利用した自宅等からの申告を推進してまいります。特に、マイナンバーカード方式やID・パスワード方式に加えて、本年からスマートフォンを利用したマイナンバーカード方式による利用可能対象が大幅に拡大したことなど、自宅等からのe-Taxがより利用しやすくなりましたので、会員の皆様のみならず、御家族の皆様及び従業員の皆様にも御利用いただきますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、公益社団法人坂井法人会の益々の御発展と会員の皆様の御繁栄を心から祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

★ **第33回法人会全国青年の集い「大分大会」** 11月8日(金) 於：iichiko 総合文化センター
全国から2,500名、当会からも8名が参加しました。部長サミットに続いて、青年部会活動の重点項目である「租税教育活動プレゼンテーション」「租税活動パネル展」、物産展が開催され、アン・ミカ氏による「ポジティブ志向～健康な心と体で未来を動かす～」と題した記念講演会後、大懇親会が催されました。

★ **第10回チャリティーソフトバレーボール大会(主催・あわら市ソフトバレーボール連盟)**

11月17日(日) 於：農業者トレーニングセンター
さかい労災遺児チャリティーソフトバレーボール大会に28チーム161名が参加。恒例の税金クイズにも参加していただき、競技同様大いに盛り上がりました。

参加料46,000円はあしなが育英会に寄付いたします。参加者の皆さまありがとうございました。



女性部会活動報告



★ **福井県法人会連合会女性部会連絡協議会研修会**

10月10日(火) 於：ホテルせくみ屋

会員11名が参加。福井県年縞記念館見学後の研修会では小浜法人会の活動報告、会場を小浜市まちの駅・旭座に移り、笑福亭松喬さん、笑福亭喬介さんによる落語会が行われました。旭座は福井県内で唯一現存する明治期の芝居小屋とあって趣きがあり、より一層落語を楽しむことができました。

★ **第2回スマイルフェスタ2019** 9月28日(土)

於：スマイルネットワークさかい(多機能型支援センター)

協力団体：NPO法人グリーンウェルに協賛

小学生の親子40名が参加。スマイルネットワークさかいが主催するお祭りで、税を身近に感じてもらえるように「税金クイズ」に挑戦してもらいました。



★ **第30回コシヒカリ杯バレーボール大会(協賛事業)**

9月29日(日) 於：丸岡体育館・今福体育館

昨年度は福井国体の為中止となりましたが、今年は例年通りあわら市・坂井市の女性120名が参加して、熱い戦いが盛んに繰り広げられました。開会式に続き、恒例で好評を頂いている「身近な税金クイズ」にも挑戦してもらい、「税の大切さ」を理解して頂きました。



◆ 研修会事業 ◆

★ **労務研修会** 10月17日(木) 於：あわら市商工会芦原支所 参加者25名

働き方改革セミナー <助成金活用による人手不足対策と生産性向上策>

講師 ふくい働き方改革推進センター ふくいジョブステーション(厚生労働省委託事業)

★ **わかりやすい!会社の決算・申告の実務** 12月3日(火) 於：あわら市商工会芦原支所

講師 税理士法人いとう会計 伊藤文夫氏 参加者15名

令和元年度「税を考える週間」関係行事 (11月11日～11月17日)

★ 地域社会に貢献する企業講演会 (坂井法人会・あわら市商工会・坂井市商工会)

11月14日(木) 於: JA花咲ふくい 芦原支店 参加170名

地元三国町出身でTVなどで活躍中の政治評論家 田崎 史郎氏を8年振りお迎えし、「政権の課題と『ポスト安倍』の行方」と題して講演会を開催しました。有名な政治家との丁寧な取材を重ねられ、お一人お一人のお人柄や今後の動向など鋭い視点からわかりやすく解説して下さいました。また質疑応答にも優しく対応して下さい、素晴らしい講演会となりました。



★ 税の広報活動 11月9日(土)

於: アルプラザアミ

三国税務署の幹部職員の方々とともに、坂井地区税務連絡協議会役員の方々が協力して「税を考える週間」の街頭広報活動を実施しました。店内で開催された「中学生の税についての作品展」は、他にも三国、丸岡、金津のそれぞれの施設でも展示をおこない、皆様から好評を得ることができました。



★ 令和元年度納税表彰式 11月11日(月)

於: 坂井市みくに市民センター みくに未来ホール

・三国税務署長納税表彰受彰者

伊藤 由紀夫 様 <法人会功績>



★ 創立55周年記念会員研修会

9月17日(火)～18日(水) 於: 舞鶴海上保安署他 参加者24名

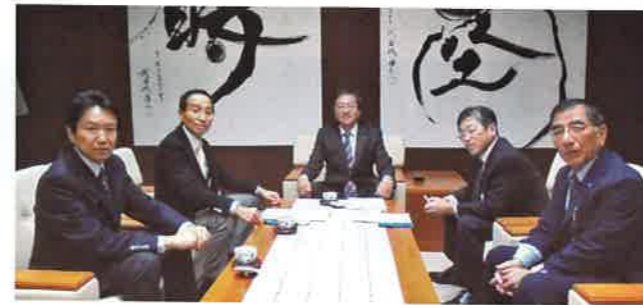
おかげさまで坂井法人会も昭和38年10月の創立から55年の記念すべき年にあたり、会員研修会を開催いたしました。初日バスの中では、法人会恒例の「身近な税金クイズ」に挑戦。「領海警備、海難救助、環境保全、災害対応、海洋調査、船舶の航行安全」等の活動に日夜従事している舞鶴海上保安署を訪問し、任務の重要性を再認識しました。二日目は、レトロ感あふれる城崎温泉での外湯めぐり、近畿最古の芝居小屋「出石・永楽館」散策と初秋の心地良い天候の中、充実した研修会となりました。



★ 第36回法人会全国大会「三重大会」 10月3日(木) 於: サオリーナ

全国より1,800名が参加。第1部では「皇室と神宮」と題し、伊勢神宮 広報室広報課長 音羽 悟氏による講演会が行われました。

また、会員からの要望やアンケートを基に策定された「令和2年度税制改正に関する提言」が採択されその実現に向けて政府、各政党、関係省庁、地方自治体等に対する要望活動を行いました。



11月19日 出口会長・伊藤理事があわら市の佐々木康男市長に提出いたしました。



11月21日 岡本副会長・竹内副会長が坂井市の坂本憲男市長に提出いたしました。

青年部会活動報告

★ 体験型租税教室 10月25日(金) 於: 福井海上保安署・福井石油備蓄基地



子供たちに税の必要性や使いみちを学んでもらうための体験学習会に、今年は坂井市の鳴鹿小学校6年生23名が参加しました。国の施設である福井石油備蓄基地を見学、全国10ヶ所あり、日本で使用する半年分が備蓄されているとの説明を受けました。

海の安全を守る福井海上保安署では、雨降りのため巡視船「あさぎり」に乗船することができませんでしたが、映画「海猿」で活躍した海難救助防具の着用など貴重な体験を通して税金の使い道に理解を深めました。

★ 租税教育活動

今年は坂井地区、三国地区、丸岡地区の会員の方々が地元の小学校6年生を対象に租税教室の講師を務めました。

税金の使い道、役割など正しい知識を身につけてもらえるよう教材も工夫され、生徒ひとりひとりにケースに入った一億円(見本)を実際に持ってもらい、一億円の重みを感じてもらうなど税の大切さを興味深く楽しく学びました。



↑ 兵庫小学校 31名 10月24日



← 長畝小学校 62名 12月13日



↑ 三国西小学校 26名 12月11日

